

## AIPC ドッグフィールド内の注意点と決まりごと！

注意！犬同士を近づけないこと。

犬同士のトラブルは、なれた頃に起こります。

呼び戻しの訓練が入っていないワンちゃんは、ノーリードにしないように！お願いします。

この季節は犬仲間が増えて、トラブルも多発する時期です。もう一度ルールを再確認しましょう。普段から自分の犬を他人の犬へ近づけていませんか？近づけられて困る人も犬もいます。近づけられて困る瞬間があります。気配りをして事故を未然に防ぎましょう。自分の犬を自ら他人の犬や人へ近づけるのは、止めてください。近づける場合：犬同士の挨拶や犬が落ち着く事を確認して下さい。犬同士の挨拶をしましょう。

★「気配り」つながれている他の犬の近くを通るときはリードを短く持ち通る方の飼主が犬と犬の間に立つように歩きます。周りの犬に「ちょっかい」を出さないように配慮をしましょう。すばらしい飼主の犬は、犬もすばらしい犬になります。

★「困りごと」犬は、学習能力の高い動物ですので、一度ケンカをした事がある犬は、何時かまたケンカをします。自由遊びを学んだ犬は何度でも自由遊びをして呼んでも帰ってきません。自転車やランニングをしている人を追いかけた事のある犬は、何度でもその走る人や自転車を追いかけます。結果、飼い主のコントロールが効かなくなり呼び戻しも出来ない犬へ育ててしまいます。

★「ポイント」悪いことは、学ばせない！ 繰り返さない！ 一緒に訓練を頑張りましょう。

身近には、こんなトラブルが起きています。

例1：) 他人の犬をかわいいと触っていて、触るのをやめた瞬間に噛まれた。

例2：) 知り合いの方が愛犬を私の犬に近づけてきました。犬同士の挨拶もせず、大丈夫だよ！と言いながら、そして、次の瞬間に犬同士がケンカになり近づけてきた犬が咬まれてしまいました。近づけてきた方は自分の犬は「いい子」なのにお宅の犬が「悪い子ね」と言いました。問題は、犬が、「咬むという行為」を学んだことが重大なことなのです。

近づけなければケンカは起こりません。近づけた方に全責任があります！自分の犬は「いい子」だからと近づけるのは飼主に問題があります。犬同士の挨拶は、飼主の号令によって行い、犬同士が遊べるか？どうかを判断する事が大切なのです。事故になる前に判断できる飼い主となって下さい。犬同士のケンカは年齢が近い場合に起こりやすいのです。また大型犬と小型犬のケンカは、致命傷になりやすく死に至ることがあります。大丈夫などと気安く考えないようにして下さい！お願いします。命は帰ってきませんから。

犬同士のルールは、飼主さん同士のルールでもあります。

飼主さん同士が、安心して楽しく学んで遊べる環境を築きあげましょう。

犬仲間の輪から、はみ出さないように、心がけてください。